

「中部地方下水道中期ビジョン（素案）」についての意見募集結果

1. 意見募集実施の概要

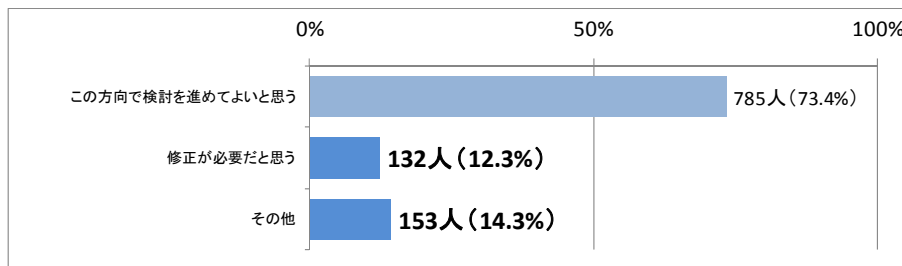
- ・平成 24 年 12 月 27 日～平成 25 年 1 月 18 日の約 3 週間にわたり、「中部地方下水道中期ビジョン」の改定についての意見募集（パブリック・インボルブメント）を行いました。
- ・意見募集は、調査会社に委託したインターネットアンケートから 1,069 名、中部地方整備局のホームページより 1 名の中部地方に住む 1,070 名^{※1}の方々にご回答頂きました。

2. 寄せられた意見について

改訂中のビジョン（素案）について意見を頂いたところ、1,070 名のうち

- ・785 名の方から「この方向で検討を進めて良いと思う」（73.4%）
- ・285 名の方から「修正が必要だと思う」（12.3%）「その他」（14.3%）との回答を頂きました。

〈 質問「【中部地方下水道中期ビジョン（素案）】に対するあなたのご意見をお聞かせください。」に対する回答 〉



- ・「修正が必要だと思う」「その他」とご回答頂いた方の自由回答から、類似する意見を整理し、計 18 件の意見を「寄せられた主なご意見」として分類させて頂きました^{※1}。
- ・「この方向で検討を進めて良いと思う」と回答頂いた方の自由回答から、類似する意見を整理し、「寄せられた主なご意見」として要約・分類させて頂きました^{※2}。

以下にご意見に対する回答、考え方を示します。

※1 回答のうち、「判断できない」という意見など、明確な意見が述べられておらず分類ができない回答等については除いて整理しております。

※2 回答を施策別について要約分類しております。

1)「修正が必要だと思う」「その他」

整理 No.	寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
1	・ 内容がよくわかりにくい もう少しわかりにくい内容で使用予定のコスト分配などを記載してほしい。 ・ 大雑把に分かった程度なので進めるも修正も判断しづらい。実際にどこが充分でどこが足りないのか、判断材料が充分とはいえない。これでいいですね？→よく分からないからこれでいいです、という意見が大部分だと思う。かなり分かりやすく説明しているとは思いますが……。 ・ 普通にわかりにくい。 ・ 眼が悪い上に文章が多すぎ、とても読みきれない。 ・ このプランが良いのか悪いのか見当がつきづらいから ・ もっとわかりやすく書いて欲しい。 ・ 理解して貰う為には時間が必要であり、内容を把握している方が少ないと思うから。 ・ この素案の全文をどれだけの人が読む前提なのか、発想が民間的ではない。専門家でもないし、細かい字を読む意欲もないし、印刷してまで読む気はさらさら無い、それでも調査、統計上と言われれば、意見を述べる余地もなし。お役所任せになり、役所としてはそのほうが都合が良いのではと思ってしまう。 ・ ページの量が多い。 ・ 自分の住んでいる所がどのくらい下水道が普及しているのかがわからないので同意見をしていいかわからない。転勤で住んでいた所は全部下水道が完備されていた。アンケートのためにこの素案を読んでもよく解らない。内容を理解するにはきちんとした勉強会が必要に思う。 ・ 正直言ってこんなにたくさんの文章を理解できません。下水に対して素人のわれわれには判断ができない。 ・ 長くて分かりにくい。 ・ これを読んで理解できる人はいるのですか。無駄な資料が多すぎる。 ・ 資料が多すぎて難しすぎて よく解らない。もっと解りやすくなった方がいいと思う。 ・ わかりにくいから。 ・ よくわからない。 ・ わからない。	・ ご意見を踏まえ、パンフレットを作成します。
2	・ 根本的再検討が必要。 ・ 根本的問題、再検討が必要。 ・ まだまだあらゆる面での改善が必要。 ・ あくまで素案であって、修正が前提条件だから。まだまだ詳しく煮詰めるべき項目もある。 ・ よく考える ・ 抜本的な施策の検討が必要。 ・ まだまだ改善の余地ありそう。 ・ 全てが良いとは限らない。 ・ 刻一刻と状況は変化するので臨機応変に対応しながら進めるべき。 ・ 改善は常に必要だから。 ・ 時々刻々と情勢はかわる。 ・ これでよいと思っていても、途中で何かしらの不明瞭点が出てくると思うので、修正に対しては柔軟に対応していただきたいと思います。 ・ いろいろと環境などもかわってくることもあるから。 ・ 計画の軽量化が必要。 ・ 現実的でない。 ・ 中々計画通りには行かないのでこんな状況である。 ・ 今の実態に合っていない気がするから。	・ 今回は中期ビジョンの中間見直しであるため、5本柱と11の施策については、改訂していませんが、5年後のビジョン見直し時において新しい技術や考え方を積極的取り入れていくよう今後も見直して参ります。

整理 No.	寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
3	・ 下水道を普及させるために都合の良いことしか書いていない。 ・ 従来型の大規模で、長期距離の＜新規の＞土木工事はやめ、修繕のみとし、必要最低限の費用で効率よくできる合併浄化槽の検討を。 ・ 合併浄化槽の利用をもっと広げる方が費用的にはかなり軽減出来るでしょう。景気対策に公共工事の名の元、下水道推進に邁進し過ぎではないかと考える。人口比率や将来の予想を甘く見積もり過ぎでしょう。 ・ 下水は必要だと思うが、行政、個人の費用が高い。合併浄化槽なら小さな浄水場みたいなものだから、住宅の少ないところに莫大な費用をかけ下水道を引くのはどうかと思う。もう少し合併浄化槽の活用も必要だと思う。 ・ 利用者に対しての必要性和家庭内での汚水処理について ・ 浄化槽をもっと利用すべき。 ・ 浄化槽使用 ・ 県全体のパーセントより、いまだ下水率の低い地域優先にする方が先ではないかと思います。下水がないと、土地活用にも限界があると考えます。 ・ 我が家では合併浄化槽だから早く下水道が来てほしい。 ・ 厳正着手 ・ 下水道の普及があまり進んでないから。 ・ 予算などの観点より、下水の整備を重点的にすべきと思う。15年程前より、三重県は下水が遅れていたが未だ遅れたまま。15年以上たってもできない事の上に環境や地震対策と言われてもできるのでしょうか？ ・ 一部郊外都市では自前の汚水処理施設を自前で運営していますが運営能力に問題が有り又 指導する立場の役所にも大いに問題が有るため。 ・ 全体的には計画に賛成します。しかし、下水道の普及について人口 30 万人以下の都市でも強く推進していく旨が書かれていましたが、三重県と岐阜県は地域が広いため、浄化槽の利用が必要不可欠だと思います。人口が集中していない地域や雨の多い地域では、下水道の運営は下水道の開通などのコスト面でリスクを負う上、雨も多い地域なので、下水処理場の流入水が多くなることも考えられます。従って、人口ではなく、人口密度を基準として、基準値を超える地域は下水道の推進、下回る地域では浄化槽の推進をすべきと感じました。 ・ もう少し下水道の普及率を上げるべきだと思う。この都市に40年住んでいるが、父親の代から下水道の整備を市に要望してきたが、未だに聞き入れてもらえない。中心部ばかり便利になり、外れた地域ではこの先も下水は期待できない。あまりに不平等さを感じる。水質汚染等を減らしたいのであれば、このような地域から力を入れて整備すべきだ。	・ 「他の汚水処理施設と連携した効率的・効果的な汚水処理施設の整備の推進」を記載しております。
4	・ 無駄が多い 適正な人口推移と現実的でない計画も多い。 ・ 人口減少に対して何も対策が講じられていない。 ・ 人口の少ない街への対策がもっと必要だと思う。 ・ 人口の動きなども考えて進めていくべき。 ・ 人口の増減等で補正があると思うので。	・ 「少子高齢化・人口減少等の社会情勢を踏まえた下水道計画の見直しを推進する」を記載しております。
5	・ 事業主体を住民とする、根本的な考えの転換が必要。 ・ 温暖化防止への貢献は不要と思う。日本だけ無駄にお金を使っているようにも思う。それよりも浸水対策など、もっと市民の声を聞いて欲しい。 ・ 情報をもっとひろく提供してほしい。 ・ いくらハードが整っても「住民協力」というソフトが伴わないとうまくいかない。下水道への理解は公共道徳の一環であり、その意識を高めることは、その街全体の民度向上につながると思う。「ちょっと大変だけど、皆のため・未来の為、がんばろう！」という気風をもっと育てて行かなければ、下水も町の将来もうまく進んでゆかないと思う。 ・ もう少し周知が必要ではないかと考えるから。	・ 今回のビジョンの見直しでは、「地域住民との連携」の中で、「計画的・継続的な広報活動を実施する」を記載しております。 ・ 住民参画しやすい下水道事業の進め方をこれからもフォローアップし、検討して参ります。

整理 No.	寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
6	・ 未接続への罰則を含む対応を。 ・ 全てが名古屋がメインになっていること。「中部地方のビジョン」ではなく、「名古屋を中心とする一定地域のビジョン」だと読み取れるから。 ・ 地域によって課題が違ってくるから。 ・ すでに整備されているところもあるので、中部地方という大きなくくりでは考えられない。 ・ 下水道は、郊外にはない。 ・ 地域事情により施策実施に変化が必要だと思うから。一律ではダメ。 ・ 具体的なことはわからないが、都市部と地方では格差があると感じる。まずはこれ以上海を汚さない為にも下水道の完備が先決だと感じる。 ・ 不景気な時期に急いでやる必要がない。 ・ 下水道を個人の負担金なしで接続することができれば普及は進むと思います。 ・ 住民の負担に関して記述がなく机上の論理だけでは説明不足です。 ・ 住民の生活を守るという視点において、目指すべき方向は正しいのですが、財源部分の説明が非常に不十分だと思います。使用料でも建設国債を発行して国から新規事業への補助が出ても、結局は将来に渡り国民が負担し、返し続けるお金ということになります。歳入に見合った適正な工事をしていただきたいと心より願います。	・ 本ビジョンは、中部地方全体の方向性までを示すものであります。ご理解頂きたいと思います。
7	・ 5年でなく3年を目指して欲しい。 ・ 緊急性が感じられない。 ・ 進捗が遅い。5年後の姿などとあいまいなことを言わずに、1年後、2年後と具体的な作業工程を示すように。 ・ 5年後の目標をもう少し早めて欲しい。 ・ スピード化。	・ 本ビジョンは平成 20 年に概ね 10 年間の中部地方全体の方向性、あるべき姿を示すビジョンとなっております。
8	・ どれも大切なことなので、やらなければならないのだろうが、中部地方と人づくりにするにはあまりにも各地で状況が違うので、よくわからない。山間部の過疎地域などは費用対効果で考えれば、やはり費用ばかりが無駄にかかる気がする。また、少し話はそれるが、富士市は「富士の水は全国でトップ3に入る安くておいしい水」と言っているが、実際の水道料金は前住居地の倍。調べてみると、上水道は安い、下水道が3倍近く高かった。こういう市民をだますとも思えるような広報は間違っていると思う。	・ ご意見につきましては、関係自治体に報告させていただきます。
9	・ このアンケートの結果が反映されるのか？アンケートの結果が反映されるのか？ 反映されないのであれば、アンケートにかけるお金が無駄。 ・ このようなアンケート自体、税金の無駄である。 ・ こんなくだらないアンケートとお金の無駄遣いしてるより下水道一本でも整備したらどうですか。まったく役所はくだらない。 ・ 読んでない。ポイントサイトで行うアンケートではない。 ・ この資料で素人に何か言わせようとしているのか。「聞いた」という予防線を貼ろうとしているだけじゃないのか。	・ 本ビジョンは定期的にフォローアップ及び見直し検討を行って参ります。 ・ 皆様のご意見の一部については、本文に反映します。
10	・ 技術の伝承に関して専門職陣営で開催する会議では凝り固まった解しか出ない。門戸を開き、消費者、就職希望世代などとともにディスカッションし、そこで出た一般的かつ素朴な意見を専門陣が組み上げ次に活かすべきと思う。発展を視野に入れるのなら(当然だが)、身内のみで出来る芸当ではない。新しい息吹を入れねば、何もやらぬと同じ。他にも色々ありますが、とりあえず現状の「説明はちゃんとストーリーありますね」的なアンケートでは何も参考にできないと思います。	・ 技術の伝承に関しては、継承を進めていくことを記載しております。 ・ ニーズの把握については、P I アンケートを含め継続していきます。

整理 No.	寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
11	- 外部の意見が入っていない。 - 大学教授や公務員ばかりの検討ではなく、地震対策の専門家や企業など幅広い人材を集め再検討すべき、予算やエネルギーなど検討できるのか疑問。	- 中部地方下水道中期ビジョン策定にあたっては、アドバイザーとして学識経験者以外の方々にも検討委員会にご参加頂いております。 - ご意見を踏まえ、今後改訂する際には広く他分野の方々のご意見を頂く方法も検討致します。
12	目前の課題に対する取り組みとしては現在の方向で概ね良いと思うが、もっと長期的な視点に立って、微生物資源を活用し、下水処理に要するエネルギーを削減したり、汚水に含まれる有機物や汚泥から新たな資源を生み出す資源循環サイクルを確立させるなどの研究が必要になると考える。現在、各地において複数の分野でこうした研究がなされているようなので、それらの情報を収集し、中部地方だけでなく、全国的な課題として取り組む体制を作り上げて行って欲しいと願う。	新しい技術の導入や下水道の未利用エネルギーの有効活用は、全国的なテーマとして取り組んでおります。
13	処理水再利用は直接生活に影響しないから普及率向上と高度化、エネルギー問題を重点にすればいい。	- 本ビジョンでは、11 の施策の一つとして「水辺環境の創造等を通じた都市・地域の魅力の向上」を掲げています。水源を複数用意しておくことで、災害時や渇水時の利用可能量を増やすことができるなどメリットがあるとも考えています。 - 個別地域の施策優先度は地域の状況も考慮し検討することとなります。
14	- 環境への負荷を重視すべき。 - 污水处理を確実に実施して排水利用拡大を図る - 素案についてはよくわかりませんが、未来の世代のために環境保全に対する住民理解をすすめていく必要があると思いました。	- 本ビジョンでは、5 本柱の一つである「良好な環境の創造」を掲げております。 - 今後においても広報活動（パンフレットや出前講座など）により、住民理解を進めていくことが重要であると考えております。

整理 No.	寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
15	・ 予算が稚拙で、住民負担増加に耐えられそうもない経営計画。 個々の浄化槽であれば、個別に危険分散されているが、下水道の場合は、大規模災害の際の復旧に時間がかかりすぎて、非常時の対応に問題が残る。また、下水道は、災害時の復旧に膨大な予算がかかる可能性が高く、経済的に非効率で不公平。 ・ 費用対効果をもっと考えるべき。 ・ 監理運営費の削減。 ・ ここの課題は分かるが、課題のプライオリティを付け、コストをミニマイズした施策とすべきである。 ・ 無駄遣いしなければ作ればいいと思う。 ・ コストが無駄にかかるのが多すぎる。 ・ もっと安価で行ってほしい。 ・ 課題とあるべき姿があるのは理解できるものの、他事業との連携・相乗効果により費用の削減を検討すべきではないか。 ・ 事業内容はどれも大切な項目ばかりだと思うが、財源が十分確保できないような印象を受けました。他のひっ迫する事業との兼ね合いで再検討も必要になるかもしれません。柔軟な対応も必要だと思います。 ・ もう少し、コスト削減への取り組みが必要。 ・ 住民の負担の大きさも検討してほしい。 ・ 財政の問題。 ・ 公共事業なので、無駄なお金を使わない様にして欲しい。 ・ もっと、節税せよ うちの金じゃ！ ・ コストがかかりすぎる。 ・ コスト面での方針があまり見えてこない。 ・ コスト的な面をもう少し詰めたほうがいい。 ・ 料金を低くするよう努力する。 ・ 政治家や特定企業・特定人物への金の流入が気になるから。 ・ 水道工事の効率化や経費削減などに取り組んでほしい。特にダム建設の見直しや水道業者の談合を取り締まるなど、経営努力をしてほしい。 ・ 経営の健全化も必要。 ・ 財政的に難があるのでは。	・ 本ビジョンでは、5 本柱の一つである「事業の継続性の確保」を掲げております。 ・ ライフサイクルコストの最小化を目指し、長寿命化と連携した耐震化事業を進めていくこと、また民間事業者の活用や技術の伝承等による効果的な維持管理の実施すること、経営の透明性を確保することで、下水道財政の健全化を進めていくことを記載しております。
16	・ 安全性を高めてほしい。 ・ 地震対策等がない為。 ・ 値段が高い。本当に安心安全なのか。 ・ 浸水については、水道局だけでなく、森林や河川が関わることなので、他の部も含め検討したほうがいいと思う。	・ 本ビジョンでは、5 本柱の一つである「安心で安全なまちづくり」を掲げております。ご指摘のとおり、東海豪雨を教訓として河川部局等の関連部局と連携し、水害対応力を強化していくことを記載しております。 ・ 施設の耐震化に加え、災害時に下水道の機能の確保をするための BCP 計画の策定を進めることを記載しております。
17	・ 下水だけではなく総合的な都市計画で考える必要がある。	・ 下水道は、快適な都市環境を実現するために不可欠なものです。 ・ 総合的な都市計画に即した整備を実施していくことが重要であると考えております。
18	・ 現在住んでいるところは合併浄化槽である。この使用しているパイプを利用できないか検討してほしい。	・ 合併浄化槽から下水道へ切り替えの際に、合併浄化槽等の雨水貯留施設への転用補助を実施している自治体等もあります。ビジョン参考資料の P28 にて事例を掲載しております。 ・ 地域毎に、費用対効果などにより適切な汚水処理方式を選択し、普及を進めていくことを記載しております。

2)「この方向で検討を進めて良いと思う」

寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
●下水道の普及について ・下水道普及を広めて欲しい。 ・整備されていない地域を出来るだけ減らさなければいけない。 ・伊勢湾の水質改善には下水道普及向上が必要。 ●エネルギー利用について ・環境、次世代エネルギーの開発は避けて通れない問題なので絶対に進めて欲しい。 ・温暖化に配慮し、汚泥でも徹底的な再利用が必要だと思う。 ・出来るだけリサイクルして永続的に利用できる仕組みが必要だから。 ・消化の際に発生するガスを活用することは良いことだし、活用できることがあまり知られていないのでもっと広報した方がよい。 ●水資源・環境問題などについて ・今、生活している人だけではなく自分達の子供や孫の代になっても安心して水が使えて、環境も良い状態になって欲しいと思う。 ・未来の世代のために環境保全に対する住民理解を進める必要がある ・処理水をもっとアピールしていくことは良い。 ・快適な環境にしようとする中で、有害な物質などの削減にもなり、自然災害も防ぐことが出来る。 ●地震対策について ・東海大地震も懸念される中、早急に対応すべき ・地震対策にかかる費用が莫大になるのではないかな。実際に費用に確保できるのか。 ・都市機能の維持のためにも防災対策は必要である。 ・自然災害に備えて対策、整備することがもっとも重要。 ●浸水対策について ・大雨が降っても浸水しない下水道整備を。 ・都市部に水没が多いのでそれを改善するのはよい。 ・以前都市型水害に遭遇したことがあるのでもっと安全な方向性を見いだして欲しい。 ●コスト、経営、住民負担について ・低コストを目指して欲しい。 ・自治体の税収入も増えず、人口も増えない現状においては、低コスト・長寿命化は当然です。 ・もっと利用料を下げたい。 ・民間企業的費用対効果を考えて行うことを条件としてならば良い。 ・収支バランスを長期的視点で考えていくのが効率的だと思う。 ●浄化槽利用について ・清流に恵まれているが、この恩恵に甘えず、汚水の分離処理を進めるべき。 ・山間地域では合併浄化槽の設置も同時に進めていくことが最適。 ●老朽化・維持管理について ・持続可能なシステムを構築されたい。 ・下水道の老朽化を身近に感じているため。 ・老朽化した施設の改築に賛成だから。	・ご意見を関係機関に周知し、今後の下水道事業の進め方の参考にさせていただきます。

寄せられた主なご意見	ご意見に対する回答、考え方
●人口減少について ・人口減少に対する対応が必要である。 ・下水道整備することは近代化に近づいてよいが、その地域の人口減少に対応した整備も必要。 ●情報提供、広報、住民参画について ・メリット・デメリットや費用対効果を素人である私たちにも分かりやすい説明、情報公開等を期待します。 ・一度にすべてのことが、前進・改善できるわけではないので、安全面・環境面・住民の理解推進を並行して行くことが重要。 ・今より住みよい環境になるなら住民の意見を確認しながら進めていっていいと思う。 ・どちらにしても地域との協力が大切だと思います。	